

宇都宮市議会 日本共産党

荒川 恒男 様

福田久美子 様

教育問題に関する質問について（回答）

1 教育委員としての抱負

私は、学校教育の中で子ども達が健全に育つためには、何よりも「教師が子ども達と向き合う時間」を確保することが大切だと思っております。朝、子どもの顔を見て、その子どもが元気かどうか分かるような教師であって欲しいと願います。ただ、教師が忙し過ぎて、そういう状況であるのか危惧しております。

私が小学校や中学校に通っていた頃は、土曜日が半日授業でした。土曜日の午後にゆったりとした雰囲気の中で、先生や友人と色々な話をするのが好きでした。語らうことで自分の中の感情を溜め込むことなくバランスを保っていたような気がします。当時と今では状況が異なっていますが、そういった時間は大切ではないでしょうか。また、保護者と学校のつながりは、子どもを通したものが大部分です。教師が子ども達と十分に向き合い、子どもと先生の関係が良好であれば、保護者と先生、そして学校とのつながりも安心できるものになると考えます。そのためにも、教育委員会は、教師が子ども達と向き合う時間を確保できるよう、教師をサポートしていく必要があると思っております。

加えて、教育委員会の広報活動が重要であると考えます。あらゆる機会を捉えて情報を発信し、市民に知らせることで、市民に教育委員会を知ってもらうことが大切です。特に、情報を受け取る側の市民一人ひとりの意識を高めるためには、より多くの人々がPTAや地域の活動などにに関わり、情報を発信する立場を経験することが一番だと思います。相手にどんなことを伝えたいのか、一つの周知物を作成するにも多くの時間と労力がかかっています。こうした経験をするにより、各種広報の周知物にも興味を持ち、より関心が高まっていくと思うのです。

最後になりますが、私はこれまで教育に関する様々な活動をさせていただきました。教育委員に就任いたしましたら、これらの経験を十分に生かした教育行政を推進していきたいと思っております。さらに、教育に携わる皆が一つであること、「チーム教育委員会」として取り組んでいくことが大切だと思いますので、教育委員会全体をチームとし、現場に配慮した対応にチーム一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

4 教育委員会制度改革について

私は、今回の教育委員会制度改革により、教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者が置かれることになり、教育行政の責任の所在が市民の目から見て分かりやすくなったのではないかと感じております。また、教育委員会が執行機関として維持されたことで、教育の政治的中立性や安定性、継続性は確保されるものと考えております。

山田 葉子